

## 第1回 八尾市史跡保存活用審議会（議事録）概要版

日時：令和2年7月13日（月）10時30分～11時30分

場所：八尾市役所 第2委員会室

### 【出席者】

（委員）

出席7名、欠席1名

（オブザーバー）

大阪府職員1名

（事務局）

生涯学習担当次長、文化財課職員4名

（傍聴）

0名

### 【議事内容】

1. 会長・副会長の選出について
2. 史跡由義寺跡の保存・活用について

### 【報告】

1. 史跡高安千塚古墳群の追加指定（郡川西塚古墳・服部川支群）
2. 史跡心合寺山古墳の修理

### 【配布資料】

- ・令和2年度史跡由義寺跡発掘調査計画
- ・報告1 史跡高安千塚古墳群の追加指定 資料
- ・報告2 史跡心合寺山古墳の修理 資料

### 【議事録】

1. 会長・副会長の選出について

委員の互選により、会長に菱田委員、副会長に瀧浪委員が選出される。

2. 事務局より調査計画の説明を行い、委員の意見をお願いした。

G委員：史跡由義寺跡の全体計画について教えてください。

事務局：保存活用計画は今年度前半期に文化庁の認定をいただく予定です。今年度と来年度は史跡指定地内で発掘調査を行い、整備計画に反映します。令和3年度から2か年にかけて、史跡整備基本計画の策定に入りたいと考えています。以降、令和5年度には基本設計に入り、続いて実施設計、令和6年度から史跡整備工事に進めたいと考えています。

E委員：「古宮」で宮殿遺構の検出を想定しているとあったが、由義宮跡がこの範囲まで及ぶと考えるか。

事務局：既往研究や調査成果から、宮域は史跡地北側の字名「古屋敷」以北を考えている。「古宮」はかつて神社があったと聞いている。当該地では北側でも瓦が出土しており、弓削寺の痕跡が見つかる可能性がある。

A委員：既往調査成果が今後の由義宮跡の調査・研究に活かされる。資料6の航空写真に調査成果を合わせた図面を作成し、報告書に盛り込んでほしい。

B委員：地形復元のためにも、地層の柱状図を作成しておく必要がある。

A委員：回廊を想定した調査についてはどのように考えるか。

D委員：現時点では調査してみなければその存否についてはわからない。

A委員：成果に関係なく、地域に対して現地公開等は考えているか。今後、整備、活用にあたって地域との連携は必要である。

H委員：地域としては、史跡公園としてより良い活用ができればと思う。

C委員：時勢から一般公開は控えた方がよい。遺跡の重要性から全国から多くの方が訪れることは想定される。他自治体では、調査の様子を動画撮影してネット公開を行っているところもある。今後の活用のためにも動画撮影しておくことも必要ではないか。

B委員：今後の史跡整備にむけた地域の意見聴取に役立てるためにも、地域の方に現場の様子を見てもらうほうがよいのではないか。

A委員：時勢もあるが、現地で公開をできなくても、新たな公開の仕方を工夫してほしい。地域に向けた限定的な公開や、活用にもむけた調査記録の残し方についても検討してほしい。調査区の設定について意見はあるか。

C委員：調査区の設定はよいと思う。1区は回廊、古代瓦・焼土層の検出を想定し、2、3区は塔基壇中軸線上にあり、最も重要な調査区であろう。また、4区は、既往調査区の空閑地に設定できている。5区は中世の河川域を確認するなど、設定に問題はない。

A委員：調査区の変更、拡張について、柔軟な対応は可能か。

府職員：調査状況により対応したい。

G委員：次年度以降実施予定の塔基壇復元に伴う調査については、検討が必要である。

A委員：今年度中に塔基壇の調査の課題をまとめ、審議会で議論しておく必要がある。

事務局：本年度中の審議会で準備する。

以降、審議会より今年度の調査計画について承認をえた。

### 3. 事務局より史跡高安千塚古墳群の追加指定と史跡心合寺山古墳の修理について報告

G委員：昨年度に郡川西塚古墳を発掘していたが、報告書はもう刊行するか。

事務局：意見具申までに刊行する。

A委員：郡川西塚古墳の史跡指定に伴い、記念事業は行うか。

事務局：区画整理に伴い公園ができるので、開園に合わせて実施できればと思う。

A委員：市内の史跡巡りにも繋がるので、是非遺跡の周知に努めていただきたい。

心合寺山古墳の経年劣化については、適切に対処していただければと思う。

以上